

## 平成21年12月期 第2四半期決算短信

平成21年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 アース製薬

コード番号 4985 URL <http://www.earth-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大塚 達也

問合せ先責任者 (役職名) 役員待遇 経営企画部部長

(氏名) 下川 善通

TEL 03-5207-7456

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年12月期第2四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第2四半期	61,887	—	9,261	—	9,356	—	5,299	—
20年12月期第2四半期	57,865	5.4	8,634	△0.4	8,782	△1.1	4,846	1.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第2四半期	264.04	263.29
20年12月期第2四半期	242.83	241.47

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第2四半期	84,284	44,831	48.5	2,035.51
20年12月期	64,470	40,541	56.8	1,825.75

(参考) 自己資本 21年12月期第2四半期 40,852百万円 20年12月期 36,643百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	75.00	75.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,287	6.1	5,634	11.4	6,022	15.9	2,982	19.8	148.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他(2)をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他(3)をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第2四半期 20,073,000株 20年12月期 20,073,000株

② 期末自己株式数 21年12月期第2四半期 3,060株 20年12月期 2,800株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第2四半期 20,070,081株 20年12月期第2四半期 19,957,795株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、天候等の急激な変化等の不確定な要素により、実際の業績は異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

(注) 連結経営成績に関する定性的情報の前年同期比及び前年同期の金額等は、参考として記載しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な金融危機を背景に企業収益や設備投資が減少し、また雇用情勢の悪化や個人消費の停滞がみられるなど、厳しい事業環境でありました。

このような状況のなか、当社グループは「価値創造による脱価格競争」をテーマに掲げ、価値を訴求する提案型営業を強化するとともに、機能性の高い製品や総合的な環境衛生サービスを提供してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は618億87百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は92億61百万円(前年同期比7.3%増)、経常利益は93億56百万円(前年同期比6.5%増)、四半期純利益は52億99百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

なお、当社グループは殺虫剤の売上構成比が高いため、売上高は3月～8月に集中する季節的な要因がある一方、人件費等の固定費は年間を通じてほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には著しい変動があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## [家庭用品事業]

家庭用品事業におきましては、景気低迷により個人消費が停滞する厳しい状況でありましたが、当社グループは数多くの新製品を発売するとともに、最適な売場作りを行う専門スタッフの増員により営業力を強化し、市場の活性化と売上の拡大に努めました。

以上の結果、当事業における売上高は538億73百万円(前年同期比7.5%増)となりました。売上総利益率は仕入商品の売上構成比率の上昇等により低下したものの、販売管理費の効率化と抑制を図ったことにより、営業利益は89億8百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

(家庭用品事業の業績)

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	家庭用医薬品殺虫剤	4,807	4,123	△684	△14.2%
	家庭用一般殺虫剤	26,588	28,394	1,806	6.8%
	殺虫剤部門 計	31,396	32,518	1,121	3.6%
	口腔衛生用品	10,945	11,414	468	4.3%
	入浴剤その他	5,702	7,661	1,959	34.4%
	日用品部門 計	16,648	19,076	2,427	14.6%
	ペット用品部門	1,458	1,780	322	22.1%
	その他製商品部門	598	499	△99	△16.6%
	合計	50,101	53,873	3,772	7.5%
営業利益		8,341	8,908	567	6.8%

(注) 売上高は外部顧客に対する売上高であります。





























